｢審判請求書｣作成見本

無効審判：実用

特 許

印 紙

5,000

特 許

印 紙

50,000

平成５年１２月３１日まで

　にされた実用新案登録出願

 に係る無効審判の場合

（55,000円）

審　判　請　求　書

令和○○年○○月○○日

　　　特許庁長官　　　　　　殿

　１　審判事件の表示

　　　　　　　　実用新案登録第○○○○○○○号実用新案登録無効審判事件

　２　審判の請求に係る請求項の数　　　１

　３　請求人

　　　　住所（居所）　　　 　東京都千代田区丸の内○丁目○番○号

　電話番号　　　　　　 03－1234－1234

　　　　氏名（名称）　　　　 株式会社オツノ

　　　　　代表者　　　　　　 乙　野　太　郎

　４　代理人

（識別番号　　　　　 １００ＸＸＸＸＸＸ）

　　　　住所（居所）　　　　東京都千代田区霞が関○丁目○番○号

　　　　氏名（名称）　　　　弁理士　代理　一郎

（識別番号　　　　　 １００ＸＸＸＸＸＸ）

　　　　住所（居所）　　　　東京都千代田区霞が関○丁目○番○号

　　　　電話番号　　　　　　０３－○○○○－○○○○

　　　　氏名（名称）　　　　弁理士　代理　次郎

　　　　連絡先　　　　　　　担当

　５　被請求人

　　　　住所（居所）　　　　 東京都中央区銀座○丁目５○番○号

　　　　氏名（名称）　　　　 実用株式会社

６　請求の趣旨　　　　　　実用新案登録第○○○○○○○号考案の請求項１に係る考案についての実用新案登録を無効とする、審判費用は被請求人の負担とする、との審決を求める。

　７　請求の理由

 (1) 請求の理由の要約

　　実用新案法第３条第１項第２号（実用新案法第３７条第１項第１号）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 請求項 | 本件登録実用新案 | 証　　　拠 |
| １ | Ａ．…………………Ｂ．…………………Ｃ．…………………　　　　・　　　　・　　　　・ | 甲第１号証（………………）　・　第○頁第○行………Ａ．………………Ｂ．………………甲第２号証（………………）　　　　・　　　　・甲第３号証（･･･････････････）・・・。甲第４号証（･･･････････････）・・・。甲第５号証（･･･････････････）・・・。 |
| 理由の要点 | （請求項１）　本件考案は…………。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

(2) 手続の経緯

　　　　出　　　　　願 令和○○年○○月○○日

　　　　出　願　公　告　　　　　令和○○年○○月○○日

　　　　　　　　　　　　　　　　（実公平○○－○○○号）

　　　　登　　　　　録 令和○○年○○月○○日

(3) 無効審判請求の根拠

　本件実用新案登録の請求項１に係る考案はその出願前に日本国内で販売された○×株式会社のＹＺ２００１型の○○装置に係る考案であるから、実用新案法第３条第１項第１号に規定する実用新案登録出願前に日本国内で公然実施された考案であるので、本件実用新案登録は同法第３７条第１項第１号に該当し、無効とすべきものである。

(4) 本件実用新案登録を無効にすべきである理由

① 本件登録実用新案

　本件実用新案登録の請求項１に係る考案は、本件実用新案登録第○○○○○○号の願書に添付した実用新案登録請求の範囲の請求項１に記載されたとおりの「･･････」であり、･･････という作用効果を奏するものである。

② 先行技術考案が存在する事実及び証拠の説明

　甲第１号証は、○×株式会社が本件実用新案登録の出願前の○○○○年○月に作成したＹＺ２００１型装置の設計図及びその説明書であり、当該設計図の上図には、××手段（図番１３）、××手段に対して○○するための○○○（図番１０）を設けた装置が記載されている。

　このＹＺ２００１型装置が上記の設計図と同じ構造を有していたものであることについては、当時の製造責任者であった鈴木○○の証言により立証する。

　甲第２号証は、ＹＺ２００１型装置のカタログであって、当該カタログの第３頁にはＹＺ２００１型装置が記載されている。また、当該カタログの第６頁には○○○○年に発行されたものであることが記載されており、ＹＺ２００１型装置は○○○○年○○月頃から製造、販売されていた事実を示している。

　甲第３号証は、□□□株式会社の平成３年度の仕入れ帳の写しであり、当該仕入れ帳の第○○頁には、本件考案の出願前の○○○○年○○月○○日、第○×頁には、○○○△年△△月××日に、□□□株式会社がＹＺ２００１型装置を仕入れ、販売していた記録が記載されている。

　そして、この仕入れ帳に記載の○○○○年○○月○○日及び○○○△年△△月××日に、□□□株式会社がＹＺ２００１型装置を仕入れ、販売していた事実について、証人高橋○□の証言により立証する。

　また、甲第４号証は、・・・。

　さらに、甲第５号証は、・・・。

③ 本件登録実用新案と先行技術考案との対比

　ＹＺ２００１型装置の構成は、甲第１号証及び甲第２号証によると「××手段、……○○○を設けた装置」である。

　ＹＺ２００１型装置と本件実用新案登録の請求項１に係る考案とを対比すると、ＹＺ２００１型装置の××手段は、本件実用新案登録の請求項１に係る考案の○○手段に、ＹＺ２００１型装置の××手段は本件実用新案登録の請求項１に係る考案の○○手段……に、各々相当するから、ＹＺ２００１型装置は、本件実用新案登録の請求項１に係る考案と同一の構成を有している。

　そして、当該ＹＺ２００１型装置は、甲第２号証及び甲第３号証に記載された事実によると、本件実用新案登録の出願前に公然と販売されていたものである。

　また、甲第４号証に記載された・・・、及び、甲第５号証に記載された・・・からも・・・。

　(5)むすび

　したがって、本件実用新案登録の請求項１に係る考案は、その出願前に公然実施された考案であるので、実用新案法第３条第１項第２号に規定する考案に該当し実用新案登録を受けることができないものであり、その実用新案登録は同法第３７条第１項第１号に該当し、無効とすべきである。

８　証拠方法

(1)　書証

①甲第１号証

　　ＹＺ２００１型装置の設計図及びその説明書であり、同装置が××手段、及び××手段に対して○○するための○○○を設けていることを証明する。

②甲第２号証

　ＹＺ２００１型装置のカタログであり、同装置が令和○○年○○月頃から製造、販売されていた事実を証明する。

③甲第３号証

　　□□□株式会社の令和○○年度の仕入れ帳の写しであり、令和○○年△△月××日に、□□□株式会社がＹＺ２００１型装置を仕入れ、販売していたことを証明する。

④甲第４号証

　　・・・。

⑤甲第５号証

　　・・・。

(2)　証人

①　鈴木○○

　　　東京都○○区○○一丁目１番１号

　　　○×株式会社○○部長

鈴木○○氏は、○○○○年当時の○×会社の製造責任者であり、ＹＺ２００１型装置が甲第１号証の設計図と同じ構造を有していたものであることを証明する。尋問事項は、別添尋問事項書に記載の通りである。

②　高橋○□

埼玉県○○市○○一丁目１番１号

□□□株式会社○○課長

高橋○□氏は、甲第３号証の仕入れ帳に記載の○○○○年○○月○○日ないし○○○△年△△月××日当時の□□□株式会社の仕入れ、販売の担当者であり、□□□株式会社が当時、ＹＺ２００１型装置を仕入れ、販売していた事実について証明する。尋問事項は、別添尋問事項書に記載の通りである。

９　書面の副本に記載すべき事項の電磁的方法による提供に係る承諾

　　承諾する。／　承諾しない。

　　（承諾しない場合は理由を記載）

１０　添付書類の目録

甲第１号証　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通、副本２通

甲第２号証　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通、副本２通

甲第３号証　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通、副本２通

甲第４号証及び抄訳文　　　　　　　　　　　　　　正本１通、副本２通

甲第５号証及び訳文　　　　　　　　　　　　　　　正本１通、副本２通

尋問事項書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通、副本２通

審判請求書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　副本２通

委任状　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１通

　証拠説明書　　　　　　　　　　 　　　　 　 　正本１通、副本２通

証拠及び証拠説明書をＤＶＤ－Ｒで提出する場合、

「添付書類の目録」は、以下のように記載してください。

１０　添付書類の目録

甲第１～５号証写し（甲第４号証抄訳文及び甲第５号証

訳文を含む）及び証拠説明書（ＤＶＤ－Ｒ）　　　　　　　　正本１枚

尋問事項書　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通、副本２通

審判請求書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　副本２通

委任状　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１通

インターネット出願ソフトの特殊申請機能（電子特殊申請）を利用して提出する場合は、副本の提出は不要となります。

「添付書類の目録」は、以下のように記載してください。

１０　添付書類の目録

甲第１号証写し　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

甲第２号証写し　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

甲第３号証写し　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

甲第４号証写し　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

甲第４号証抄訳文　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

甲第５号証写し　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

甲第５号証訳文　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

尋問事項書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

委任状　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１通

証拠説明書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

なお、電子特殊申請で添付するＰＤＦファイル数の制限により、証拠の写しと抄訳文／訳文を一つのＰＤＦファイルとして提出する場合は、以下のように記載してください。

甲第４号証写し及び抄訳文　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

甲第５号証写し及び訳文　　　　　　　　　　　　　　　　　正本１通

|  |
| --- |
| ※納付方法手続方法により、以下の納付方法が使用できます。書面(1)特許印紙(2)特許庁窓口における指定立替（クレジットカード）納付(3)現金納付 (4)電子現金納付インターネット出願ソフトの特殊申請機能（電子特殊申請）(1)予納(2)口座振替(3)指定立替（クレジットカード）納付(4)電子現金納付※各納付方法の記載例　「８　証拠方法」欄（電子現金納付の場合は「１０　添付書類の目録」欄）の次に、納付方法の欄を設けて記載してください。各納付方法の詳細については「[納付方法](https://www.jpo.go.jp/system/process/tesuryo/nohu/index.html)」のページを御確認ください。(1)予納「９ 予納台帳番号　ＸＸＸＸＸＸ納付金額　　　●●●●●　」(2)口座振替「９ 振替番号　ＸＸＸＸＸＸＸＸ納付金額　●●●●●　」　(3)指定立替（クレジットカード）納付「９ 指定立替納付　●●●●●　」 (4)電子現金納付「１１ 納付番号　ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ」(5)現金納付　納付済証（特許庁提出用）を別の用紙に貼り添付してください。 |

尋問事項書

（令和○○年○○月○○日）

特許庁審判長 殿

１　審判の番号　無効○○○○－○○○○

２　請求人

住所（居所） 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号

電話番号 ０３－１２３４－１２３４

氏名（名称） 株式会社オツノ

代表者 乙野太郎 印

３　証人 高橋　○□

４　尋問事項

1. ○○○○年当時の証人の職業について
2. 証人と甲第３号証の仕入れ帳との関係について
3. 甲第３号証の仕入れ帳に記載の○○○○年○○月○○日ないし△△△△年△△月△△日当時に仕入れた装置はどのような名称及び構造の装置でしたか
4. 当時仕入れた装置は、甲第１号証の設計図に記載された××手段、及び××手段に対して○○するための○○○を設けているものでしたか
5. その装置は、その後どのように扱われましたか
6. その他関連事項について

５　尋問に要する見込みの時間 45分